

徳島大学病院看護部は、2003年6月ISO9001を認証取得しました。この度、その過程と取り組みを本にまとめたのでご紹介いたします。各部門での具体的な取り組みについて病棟(東病棟3階、集学治療病棟)、外来、材料部、安全管理対策室の責任者が、取得までの過程に沿って説明しています。今後、取得を目指している施設には、とても参考になる部分であると思っております。

また、看護部の質向上に対する取り組みの内容は、患者中心の看護の実践、組織の業績と個人の成長を促す目標管理システム、看護職員の臨床看護実践能力評価システムであるクリニカル・ラダーなど多岐にわたっています。それらの取り組みすべてを文書化し、規定書としてまとめられています。

『ISO9001が看護を変える』

出版社: 西日本法規出版会社
 定価: 3,360円(本体3,200円+税5%)
 発行日: 2005年8月10日

医学部・歯学部附属病院 看護部
 石山 由紀子 他 いしいやま ゆきこ



前青森県立大学教授で青森中央短期大学看護学科準備室のライダ―島崎玲子氏より『単にISOの看護への臨床応用に留まらず、それを実践につなげているということによって価値がある。高度な専門知識、技術、正確さ、安全などもISOの監査項目に挙げられており、単に理念上のものではないことがうかがえる。本書の大きな成果は、医療関係者だけでなく、看護という仕事を医療以外の人々に文章で明示できたことではないだろうか。』との推薦文をいただいております。

2004年には徳島大学病院としてISO9001を取得することが出来ました。看護部の取り組みが病院全体に拡大しています。今後PDCAサイクルをまわしながらパイラルアップを図っていききたいと思っております。

『初歩からの複素解析』

出版社: 学術図書出版社
 定価: 本体1,400円
 発行日: 2005年3月30日

工学部共通講座
 香田 温人 こうだ あつひと
 総合科学部自然システム学科
 小野 公輔 おの こうすけ



本書は、これから複素解析(関数論)を学習しようとする学部生向けに書いた複素解析の入門書です。取り扱う内容を、複素数の導入から留数の実積分への応用までに厳選し、1章「複素関数」2章「正則関数」3章「べき級数」4章「級数展開」の4つの章で構成しています。特に、コーシーの積分定理と留数定理の解説および実積分への応用には最大の力を注いでいます。

入門書ということでは、できるだけ少ない予備知識で読み進められるように配慮しつつも、理論の厳密性をなるべく損なわないように工夫して、工学部の香田温人先生と共著で執筆しました。複素解析は、大学初年度で学習する微分積分学や線形代数を修得した学生が次に学習するのに適した内容であると同時に、

理工系の専門書や文献を理解する上で重要な役割を果たしています。本書の特徴としては、微分積分学を学習した学生が独学でも学習できるように、取り扱う内容をかなり絞り込んでいる点と、それらをやさしくかつできるだけいねいに解説しその理解のために数多くの例、例題を配置している点が挙げられます。微分積分学の予備知識についても問などを通して自然に復習できるように工夫していますので、すでに類書をもっている学習者にも参考書として役立てて頂きたいと思っております。

本書が、理工系の学部生や大学院生の複素解析の入門書として役に立ち、さらに高度な段階にすすむための手助けとなれば幸いです。

秋号特集「徳島大学の教育力」
 を読んで

●魅力ある授業の紹介は、学生や社会に向けてのアピールとして大変よいと思います。文系の授業、少人数の授業もあればよかったが、後に続くようですので、期待します。余裕があれば、公開講座も。
 ●教育力の結果として何を学生にもらしたか、それが無い。学生が本人は充実した

大学生を送っていると感じたとしても、卒業時あるいは修了時に進学先、就職先が誇れるものでなかったら、どうだろうか?結果がどうなったのか、それが大切と考えている。その部分の企画が無いのが残念だと思う。
 ●教育力とは何でしょうか。教え方のよしあしでしょうか。その効果の受け方の上手、下手なのでしょうか。よくわかりません。何

が生まれる、創造されるのかが大切だと思います。
 ●授業に工夫をこらして行っている先生方の姿が素晴らしい。リアクションペーパーの使用とか、板書して学生に書かせるとか、最近の学生は余り書かないのでポイントを書かせることで、理解度を深めていると思う。